

好調な決算を背景に満額回答を強く要求！

日々、業務に邁進している社員の労苦・期待に報いる事を強く求める！

11月6日に第2回の年末手当交渉が行われ、国労東海本部は会社に対して、「社員の期待・労苦に報いる為」好調な決算、社員の働き度などを背景に満額回答を強く求め、3.5ヶ月満額獲得に向けて議論・主張を行いました。

2025年度・年末手当交渉

◎国労東海本部、年末手当交渉骨子

- ①会社の業績(第2四半期決算)
- ②国内外の経済情勢
- ③国労要求の根拠と整合性
- ④会社の年末手当判断基準
- ⑤JR東海の労働者の働き度や家族の期待
- ⑥査定の公平性確保

◎国労の主な主張

- ・この間、社員は要員不足や休日労働が多く、職種や系統で発生し、業務量や業務負担が増えるなか会社業績を支えてきている。3.5ヶ月の価値は十二分にある。
 - ・第2四半期決算は過去最高益であり、業績を反映し支給月数を上積みする大きな要素である。また、リニア中央新幹線建設費の見直しに対して、試算から健全経営と安定配当は堅持できる見解であり、マイナス要素はない。
 - ・過去最高の業績であることから、これまで過去最高の年末手当支給月数や年間ベースの月数を上回することは必須でと考えている。
- ☆国労要求に沿った年末手当の支給を強く求める。

国労東海かべ新聞

国鉄労働組合東海本部 編集責任者：教宣部長